

# 群馬菱の実会だより

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/>

(本紙は「群馬菱の実会ホームページ」から、毎月1日に、カラーで綺麗にご覧頂けます。ネットでの閲覧をお奨めします)

## シリーズ 関係会社

### 三菱電機ライフサービス(株)群馬支店 (MDライフ)

「群馬菱の実会」会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から、MDライフをご愛顧賜りまして、誠にありがとうございます。とりわけOBの皆様には、社内製品販売・車の拡販活動に、特段のご協力をいただいていますことに改めまして御礼申し上げます。



鷲見(スミ)支店長

さて、当社は、1964年に「菱電不動産」として産声を上げ、お蔭さまをもちまして今年、創立50周年を迎えることができました。(2000年に現在の社名に変更しています)。ここ群馬支店も、1971年に群馬出張所として開設し43年目を迎えております。これもひとえに、馬電はじめ関係の皆様のこれまでの温かいご支援・ご指導の賜物と心から感謝申し上げます。

当支店は、現在、馬電総務様からの【委託事業「構内緑化・保安業務等」】を中心に、「工場給食」「ケータリング」の【フード事業】や、「社内製品販売・構内売店」を主とした【ショップ事業】に加え、10年程前から【介護サービス「グループホームさるびあ」】に参画し、地域福祉の一翼を担いながら「総合福祉会社」として成長させていただいています。

創立50周年を機に社是を「お客様の元気な笑顔が私たちの喜びです。」とし、馬電や関係会社の「生産活動」を、身体の「動脈」になぞらえ、当支店の「生活支援サービス」は「静脈」と位置づけ、その機能に見合う役割を果たしていきたいと日々活動しております。

奇しくも馬電の「給湯機発売50年」と同じ歩みをさせていただいているこの偶然に感謝し、馬電や関係会社そして地域社会の活力のために、今後も、夫々の「サービスの品質」を高めて参りますので、引き続きのご愛顧とご指導をお願い申し上げます。

三菱電機ライフサービス(株) 群馬支店  
支店長 鷲見 尚人

## 【社是】



従業員の顔写真をつなげて文章を作成しています。



メルショップ4姉妹

## 【菱の実雑感】

以前、ある新聞のコラムで、ことわざや格言のパロディを取り上げていた。多くは作者不詳だが、名作が多い。▼例えば「人間万事塞翁が馬」邪魔「人間万事塞翁が馬」や、あまり大きな声では言いたくない「妻を憎んで人妻を憎まず」等々。なかなか面白い。▼そこで私も百人一首で挑戦してみた。《あきれたの号泣県議 不正かくしあの騙し手は ついに知れつつ》【秋の田の かりほの庵の 苦をあらみ 我が衣手は 露にぬれつつ】。他にも《あきれたの 期限切れた肉を 使い あれ隠し手は ついに知れつつ》▼今世の中、あきれることが後を絶たない。腹を立てると身体に悪い。せいぜいパロディーで、もじり倒そうと思う。▼それではもうひとつ。《若さぶる 注意も聞かず 立ったまま 急に持ち上げ 腰さすとは》【ちはやぶる 神代も聞かず 竜田川 からくれないに 水くくるとは】 (篠崎 辰夫)

**親睦旅行のご確認 「新潟 妙高高原 赤倉温泉」の旅**

- 期日：10月16日(木)～17日(金) ● 宿泊先：ホテル太閤 0255-70-4195
- 集合：大利根寮 (尾島行政センター東隣) 8時50分集合、9時出発
- 参加費：男性 18,000円、女性 15,000円 (当日徴収させていただきます)

(9月20日現在、予算40名に対し、まだ**31名**の申込みで大変厳しい状況です。ぜひ再考頂きご参加下さるようお願い申し上げます)

**組合トピックス**

2014年8月16日より群馬支部執行委員長になりました 児玉です。  
 菱の実会の皆さまには、日頃から大変お世話になっております。  
 本部中央執行委員4年を経て、支部復帰となりますのでどうぞよろしくお願ひします。  
 さて、この度8月16日を以って群馬支部の役員体制が新たなメンバーになりましたので  
 皆さまにご紹介させていただきます。

継続の嶋田書記長、上原執行委員、新たに本庄執行委員(給品出身)、そして6年ぶりの  
 執行部復帰となる梅津副委員長と私を加えての体制となります。

また、荻原前執行委員長におかれましては、8月16日から中央副執行委員長に就任して  
 います。群馬支部として初めての本部三役の輩出となります。本部にてさまざまな場  
 面で活躍いただくよう、支部として全力を挙げて支援していきたいと思ひます。  
 菱の実会皆さまのこれまで同様のご支援ご協力をお願い致します。

**菱の実会ホームページ情報**

本紙をインターネットから閲覧のお願い

先般、宅配会員の方に、本紙のインターネットでの閲覧についてお願い文書を添付させて頂き  
 ましたが、郵送料等会の経費削減のためにも、ぜひ本紙をインターネットからご覧下さるよう  
 お願い致します。本紙はインターネットの「群馬菱の実会ホームページ」のトップページ上に  
 掲載してあります。毎月1日に更新し、メールでその都度ご案内します。パソコンからクリッ  
 クひとつで、カラーで綺麗に、見やすく大きくしてご覧頂けます。

「菱の実会ホームページ」には、「菱の実会だより」の他に、次のようなたくさんのページが  
 あります。菱の実会の歴史や為になる情報、娯楽がいっぱい詰まっています。どうか菱の実会  
 ホームページもお楽しみくださるようお願い致します。

- (1) 菱の実会だよりバックナンバー集 … 号別、年度別、項目別に創刊号からネット上に格納。
- (2) 菱の実会行事の映像記録集 … 過去の親睦旅行、総会、ねふた祭り等のビデオ映像。
- (3) 会員趣味の作品集 … 会員のホームページ、水彩画や写真の作品等、作品発表の場です。
- (4) 会員動画投稿集 … 動画投稿サイト「YouTube」に会員の皆さんが投稿した映像集です。
- (5) ネットでパソコン教室 … ネット上にあるパソコン教室に類する動画サイトからピックアップ。
- (6) なんでもパソコン活用レッスン … パソコンのお役立ち情報、活用のネタ、裏技など
- (7) 連載企画 … ①エンディングノートの書き方講座 ②昭和史 ③ロングセラー商品誕生秘話
- (8) 歌と笑いのエンタメ編 … カラオケ新曲集、懐メロカラオケ、お笑い等
- (9) その他 … 今月のおすすめネット動画集、今月のトピックス等

**祝 長寿  
(喜寿)**

岩佐 重雄 様	伊勢崎市境下武士	77歳(1937/09/05)
中村 富家 様	千葉県松戸市	77歳(1937/09/13)
根岸 昇 様	太田市世良田町	77歳(1937/09/22)

## 【 会員投稿 】

## 両親の認知症在宅介護 始末記

篠崎 辰夫

過日、満100歳を迎えた母が亡くなり、ようやく両親の介護が終わった。思えば長くつらい介護だったが、最後は二人とも家で静かに看取ることが出来てなによりだった。

両親の介護を通じて、多くの教訓を得た。介護のインフラは昔に比べ良くなったとはいえ、まだまだ医療や介護保険制度の将来は不安がいっぱい。行政にばかり頼ってはいられない。「在宅寝たきり介護」となると、家族の肉体的精神的負担は筆舌に尽くし難い。認知症介護で一番大変なのは家族だ。まずは自らが呆けないこと、寝たきりにならないこと、そして残された家族が困らないよう、さまざまな「もしもの時の備え」を今のうちから整理し残しておくことが大事と、改めて痛感した。

父は20年ほど前、当時の痴呆症介護で大変苦勞した。まだ介護保険もなく、施設も治療方法も確立されていない時代。不可思議な病に対する手探りの壮絶な在宅介護が5年ほど続いた。

その介護記録を単行本にまとめ自費出版したところ、新聞や雑誌にも取り上げられ、ある自治体や介護団体から講演依頼が飛び込んできたりして、思わぬ体験をさせてもらった。それほど当時の痴呆症とその介護は未知の世界だった。

母の介護は8年ほど前から。家の前の道路で転倒し大腿骨骨折で入院。手術して奇跡的に回復したが、入院の環境変化で認知症が始まった。父ほどではないが、昼夜の徘徊が目が離せなくなった。ただ、この20年で介護のインフラは様変わりし、デイサービス施設や医療など介護保険制度のサービスを最大限利用させてもらい大変助かった。

100歳まで元気に毎日デイサービスに通っていたが、年齢には勝てなかったようだ。ソファから立とうとして転んで足腰を打ち、動けなくなってしまった。もう骨がぼろぼろ状態ということで、医者からも見放されてしまった。そしてその日から壮絶な寝たきり介護がスタートした。

担当のケアマネにお願いし、まもなく高機能付き介護ベッドが運び込まれ、介護ヘルパー、訪問看護師、往診の医師、訪問入浴と、体制が整った。

当然これだけでは足りない。妻はおむつ交換、私は三度の食事介助とローテーションに加わった。介護は土曜も日曜もない。毎日スタッフが入れ替わり出入りするため、家も長時間空けられない。今まで以上に自由な時間がなくなった。

最大の難関はおむつ交換。1日最低3～4回替えねばならない。意外と力が要る。妻はすぐ腰を痛めてしまった。ヘルパーは手慣れたもの、便の出が悪いと指を入れてほじくり出してくれる。家中臭気がただよう……。

そんな介護も3カ月が過ぎたころ、訪問入浴のあとしばらくして、風邪をひいたのか、痰がから

んだ咳をしだした。看護師に吸引機で痰を吸い出してもらい、その後楽そうに眠ったので安心してはいたが、夜中に見たらぐったりしていた。眠ったままの自然で安らかな最期だった。

葬儀も済ませほっとする間もなく、煩わしい役所や年金、郵便局、銀行などの手続きが続く。せめて役所に提出した死亡届が年金停止に連動して欲しいもの。

そして今頭を痛めているのが「タンスの肥やし」。タンスの中に着物などがいっぱい詰まっている。形見分けにすすめても誰も見向きもしない。どう処分したらいいのか……。

両親を見送り、これらを我が身に置き換えてみると……なんとも心細い。残された家族の困っている様子が目に浮かぶ。まずは自らが呆けないよう、健康長寿に心がけると共に、今のうちから「もしもの時」に備え、情報や物をまとめて整理しておこうと思う。早速市販の「エンディングノート」を購入、ネットから「エンディングノート書き方講座」も見つけた。「もしもの備え」で、安心・快適な老後を！

## &lt;追記&gt;

先日あるテレビの認知症の番組で、パソコンが認知症予防に大変効果的と報じていた。お年寄りが集まって「パソコン」を前になごやかに教え合っている事例も紹介されていた。

そういえば我が「菱の実会パソコンサークル」もそんな集まりです。パソコンを前にワイワイガヤガヤ興じています。みんなパソコンより口の方が上手い。そんなサークルに参加してみませんか。パソコンは、呆けないための「い〜いクスリ」です。

菱の実会ホームページに、「エンディングノートの書き方講座」を転載しました。参考にして頂ければ幸いです。

